

《質問に対する回答》

【学校生活に関して】

Q.1年間を通して、どのような行事がありますか？

A.本校の年間行事は、本校 HP の学校生活→年間行事 に記載があります。

また、本校パンフレットの P19・20 にも記載があります。

是非ご覧ください。

Q.児童の様子分かる動画はありますか？

A.児童のプライバシーの関係上、児童の日々の授業・活動の様子はお見せしておりません。

しかし、本校の活動場所や遊具を紹介した動画が YouTube「聖ヨゼフ学園動画」の「遊び場所 紹介（1）（2）」にて紹介しております。また、今後も動画を配信していきますので、是非ご覧ください。

Q.クラスでのトラブルに対して、どのような対応をしていますか？

A.本校では、担任・副担任制を導入しており、常に教員2人で児童のことを見守り、指導しております。もし何か問題が起きた時には、学年団・養護教諭・スクールカウンセラー・校医・管理職と、学校全体のこととして共有して捉え、児童がこれからも安心して学校生活を送れるように迅速に対応しております。また、保護者様との連携を密にして、学校だけではなく、保護者様のご理解・ご協力をいただきながら、問題の解決へと向かうよう取り組んでおります。

【感染症対策に関して】

Q.緊急事態宣言・児童の感染後の学校では、どのような対応をしていますか？

A.緊急事態宣言が発令された場合は、文部科学省・神奈川県教育委員会・校医などとの連携から、本校での児童・保護者・教職員の実態を踏まえた上で、児童の安全を第一に判断しております。

児童が感染した場合は、お住まいの地域の保健所の指導の下、児童の心身の健康を第一に考え、状況に応じて自宅学習・学級閉鎖などを対応しております。

自宅学習の場合は、「Google Classroom」を用いた課題の提示・提出、ビデオ会議アプリ「ZOOM」を用いたオンライン授業・学習へのフォロー、登下校&連絡メール配信サービス「安心でんしょぼと」を用いた学校と保護者様の連携を図っております。

※9月1日現在での対応になります。情勢の変化に伴い、変更する場合があります。

【入学試験に関して】

Q.試験時に「動きやすい服装」とありましたが、体操服で受験しても良いのでしょうか？

A.入学試験は、特に指定の服装という物はありません。同日に学力考査・実技考査がありますので、入学試験に準じた服装でお願い致します。

【IBに関して】

Q. IB導入におけるメリット・デメリットは、何でしょうか？

A.本校では、IB導入におけるメリット・デメリットを以下のように考えております。

～メリット～（未来を生きる力が育まれます）

- ・国際バカロレア（以下IB）は世界共通のプログラムであるため、IB校であれば世界中どこにいても同じ教育プログラムを受けることができます。
- ※カリキュラムは各校によって異なります。
- ・グローバル社会で活躍する知識やスキルの基礎が身につきます。
- ・1年生から人前でプレゼンテーションをする機会が多くあるので、プレゼンテーション力が身につきます。
- ・協働学習をする機会が多いため、コミュニケーションスキルの向上・多様性の推進・発想力の研磨・信頼関係の構築・自信の獲得・参加意欲の向上・学習意欲の向上・問題解決力の向上が見込まれます。
- ・学び方を習得するため、自ら学び続ける力がつきます。
- ・問題解決のための考え方や重要なスキルが身につきます。
- ・Agencyが生まれ、自己効力感が高くなります。その結果、未知なる問題に直面した時でもその問題を解決するための行動ができます。また、より良くしようと努力します。

（補足）Agencyとは、自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現しようとする姿勢・意欲のことです。

～デメリット～（未来に向けて魅力が育まれます）

- ・言われたことを言われた通りにやるのが好きなお子様にとっては、自分の考えを伝えたり、友だちとディスカッションしたりしながら進めていくIBの学習は苦手かもしれません。
- ・人前に立つことが苦手なお子様にとっては、人前でプレゼンテーションをする機会が多くあるため、最初は難しいことがあるかもしれません。
- （補足）人前に立つことが苦手なお子様でも、回を重ねるごとに成長していきます。また、自分の意見を言うことが苦手なお子様でも安心して発言ができる安全な環境があることが分かれば、堂々と意見を言うことができるようになります。
- ・学習の進捗には個人差があるため、お子様によっては多くの課題を家に持ち帰ってやる必要があります。そのため、ご家庭のサポートが必要な場合があります。
- ・一般的に保護者世代の方々が受けてきた教育とは違ったアプローチの教育だと思われるため、保護者の皆様にとっては戸惑われることがあるかもしれません。

（補足）保護者の皆様にIB・探究のことを理解していただくために、年に3回、探究保護者勉強会を開催しております。